

## 富山県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの設置について

富山県厚生企画課

## 1 現状

社会構造の変化（単身世帯の増加、働き方の多様化など）により、孤独・孤立問題の深刻化が懸念されるなか、R6. 4. 1「孤独・孤立対策推進法」が施行され、地方公共団体は孤独・孤立対策について、「国及び他の地方公共団体との連携を図りつつ、その区域内における当事者等の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する（法第4条）」こととされている。

**孤独・孤立の状態とは**（孤独・孤立対策推進法における定義）（破線内：内閣府資料より抜粋）

孤独又は孤立により心身に有害な影響を受けている状態

「孤独」（一般的な捉え方）

主観的概念であり、ひとりぼっちと感じる精神的な状態を指し、寂しいことという感情を含めて用いられることがある

「孤立」（一般的な捉え方）

客観的概念であり、社会とのつながりや助けのない又は少ない状態を指す

**孤独・孤立対策とは**（孤独・孤立対策推進法における定義）

孤独・孤立の状態となることの予防、孤独・孤立の状態にある者への迅速かつ適切な支援、その他孤独・孤立の状態から脱却することに資する取組

→ 「望まない孤独」と「孤立」を抱える方々が政策の対象

「一人であること」自体が直ちに問題ではなく、悩みや困りごとが生じた際に一人で抱え込んでしまうことで、複雑化・深刻化することが問題

（参考）孤独・孤立や人と人とのつながりの希薄化が与える影響

◆健康上の様々なリスク

- ・社会的孤立は、喫煙・肥満・運動不足よりも健康上のリスクが高い
- ・社会的つながりが弱いと1日15本の喫煙と同程度の健康への悪影響がある
- ・他者との交流頻度が週1回未満だと認知症の発症リスクなどの健康リスクが上昇

◆自殺念慮、自傷行為への大きな因子

- ・孤独・孤立や社会的支援の欠如が自殺念慮や自傷行為のリスクにつながる

◆日常生活における様々な経済的・社会的活動の意欲減退

- ・3～4割程度の若者が、孤独を感じているときは、感じていないときに比べて、「外出」「学業・仕事」「家事・育児」に対する意欲を減退させるという調査結果
- ・職場における支援的で包摂的な人間関係は、仕事に関する満足感、エンゲージメント、能力の発揮に関連しており、キャリアアップ、収入など経済的安定性にも影響

**地方版プラットフォームの設置**

法では地方自治体において、「多様な主体が参加する地方版プラットフォームの設置」が努力義務となったほか、国では「孤独・孤立対策推進交付金」により、前記プラットフォームの設置も含めた都道府県における孤独孤立対策の強化を図っている。

事業目的：都道府県が実施する多様な主体による水平的な連携・協働体制の構築と地域の実情に応じた孤独・孤立対策に関する各種取組みへの支援を行うことにより、地方における孤独・孤立対策を推進する

主な事業内容：①地方版官民連携プラットフォームの設置

②孤独・孤立対策関連事業の実施

例) 取組方針の作成、実態把握や地域資源の調査、住民への情報発信や普及啓発関係者間の活動等に係る情報共有や相互啓発活動 等

## 2 富山県における地方版孤独孤立プラットフォーム設置目的

- ・関係者間で顔の見える関係を構築し、対等に相互につながる「水平的」な連携・協働を促進する。
- ・孤独・孤立の実態把握、情報共有、普及啓発や人材確保・育成のための研修等に取り組む。

## 3 構成

核となり企画・検討を行う①幹事会と、広く県民に参加を呼びかけ、主として普及啓発を目的とした勉強会に参加する②プラットフォームの2層構造とする。

### ① 幹事会

・R5.10に県が実施した調査によると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性より女性が高く、年代別では、男性では40代、50代、30代、女性では30代、40代、20代以下の順で高い\*ことから、**委員は働き盛り世代やこども、女性分野を対象に活動している団体の代表を中心に10名程度の構成**

\*孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合

【**県平均8.5%**、男性:40代11.8%、50代11.4%、30代7.1%、女性:30代15.3%、40代12.4%、20代以下9.5%】

### ② プラットフォーム

・会員はプラットフォームへの入会を希望する団体等とする

主にNPO・社福法人等に所属する支援者などを想定(R6.2実施した県孤独・孤立対策シンポジウム参加者、現在把握している自殺対策関係団体等にメール(165件)により勉強会への参加を呼びかけ)

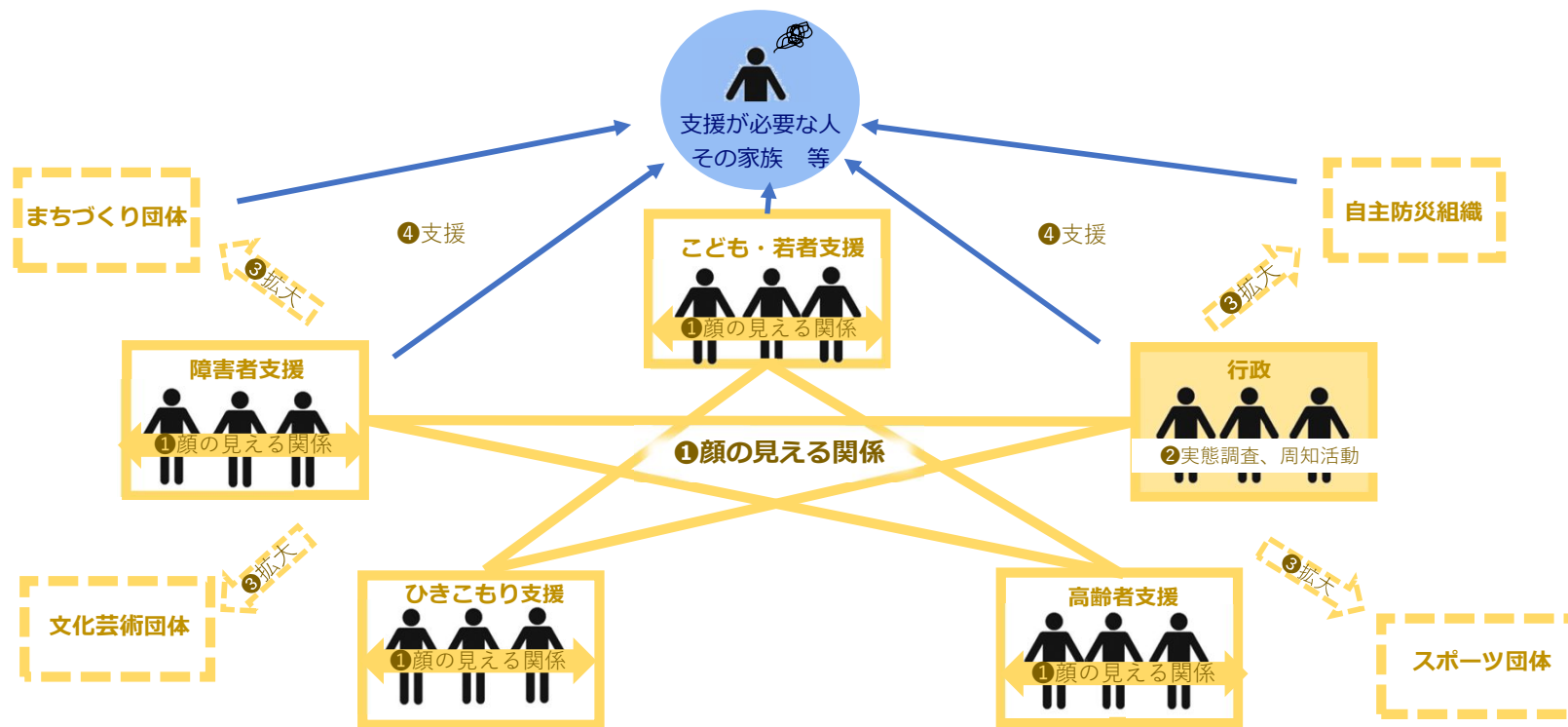
## 4 今後のスケジュール

R6年12月10日：第1回勉強会

R7年1月～3月：勉強会2～3回程度

夏頃：幹事会を開催(勉強会の結果を踏まえ、県施策について検討等を行う)

# 富山県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームイメージ図



※カテゴリー名は例示